

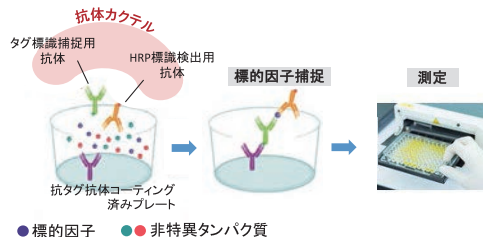


NEW 簡単、迅速にサイトカインなどを定量 Quantikine QuickKit ELISA Kit

試料中のサイトカインなどをサンドイッチ法により比色定量する ELISA キットです。

従来のサンドイッチ ELISA では 4.5 時間かかっていた測定が、ワンステップ、**わずか 80 分**で完了します。

測定原理



プレートにコーティングされた抗タグ抗体と、タグ標識済み捕捉抗体が結合し、標的因子が抗体に捕捉される。標的因子はさらに HRP 標識検出抗体で捕捉され、サンドイッチの構造となる。プレートを洗浄後、基質を添加して発色反応を行い、反応停止後にプレートリーダーで測定する。

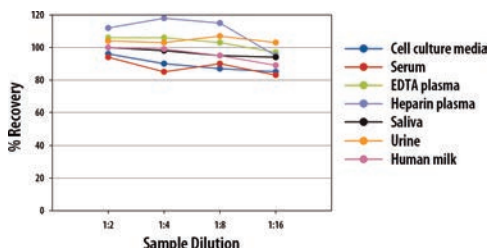
特長

- 測定動物種：ヒト
- 測定試料：血清、血漿、細胞培養上清など
- 測定波長：450 nm (補正波長 540 nm または 570 nm)
- 測定時間：約 80 分間

測定因子一覧 (製品ラインナップ)

- CD14
- IFN-β
- TNF RI/TNFRSF1A
- CRP
- IL-2
- TNF-α
- CXCL10 / IP-10
- IL-6
- VEGF
- G-CSF
- Total IL-18
- GDF-15
- Leptin

製品例



Human VEGF Quantikine QuickKit ELISA (#QK293) を用いて、各試料 (ヒト VEGF を含むまたは添加した試料) の 2~16 倍希釈溶液中のヒト VEGF を測定し、本製品の直線性を評価した。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Human VEGF Quantikine QuickKit ELISA NEW	RSD	QK293	カルタヘナ 1 kit / 104,000



NEW アルギニン定量キット L-Arginine ELISA Kit

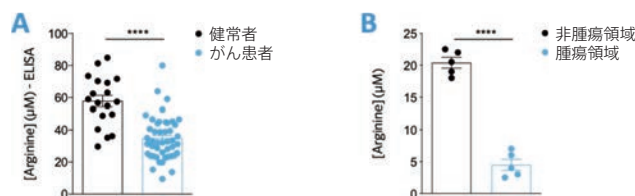
試料中の L-アルギニンを競合法により比色定量する ELISA キットです。

MEMO

アルギニンとは

アルギニン (Arginine) は塩基性の非必須アミノ酸で、一酸化窒素 (NO) の産生に寄与して血管緊張の恒常性を維持し、一酸化窒素合成酵素 (NOS) とアルギナーゼ (Arginase) を介して免疫応答を制御するなどの生理機能に関与することが知られています。アルギニンの代謝異常は、腫瘍増殖や免疫抑制細胞 (例えば骨髄由来抑制細胞, MDSC) でのアルギナーゼの過剰発現によりアルギニンが浪費され、エフェクター免疫細胞がアルギニンを利用するのを防止できます。したがって、アルギナーゼは、抗腫瘍免疫回復のための魅力的な治療標的となります。血漿や血清などの試料中アルギニン量の測定は、新規アルギナーゼ阻害物質スクリーニングのための適切な代用マーカーとなります。

使用例



(A) 本キットを用いて、健常者 (19 名, ●) と多様な組織型がん患者 (46 名, ●) の血漿中アルギニンを定量した。アルギニン量は健常者よりもがん患者の方が低く、がん患者においてアルギナーゼ活性が過剰になっていることが示唆された。

(B) マイクロダイアリスを MCA205 肉腫の担がんマウスの腫瘍領域 (●) と非腫瘍領域 (●) の両方で行い、収集した透析液を本キットを用いてアルギニンを定量した。皮下領域と比較した場合、アルギニン値は腫瘍領域で低く、腫瘍アルギナーゼ活性が高いことが示された。

***p<0.0001

[マーカー : ISM]

測定動物種	All species
測定試料	血清*, 血漿 (EDTA 処理), 細胞培養液
必要試料量	20 µl
測定範囲	5.12~200 µM (1.08~42.13 µg/ml)
測定波長	450 nm (補正波長 : 620~650 nm)
商品コード	IS-I-0400 NEW
包装	1 kit
価格 (¥)	142,000

* 脂肪血症や溶血性の試料、および沈殿物やフィブリン鎖を含む試料は使用しないで下さい。